

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 50 回部会）会議録

日 時：令和 6 年 7 月 11 日（木）午後 7 時 00 分～午後 8 時 35 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議題
  - ・ (1) 淡路駅エリアのまちづくりについて
  - ・ (2) 地域での活動報告及び意見交換
  - ・ (3) その他
    - ・ 柴島浄水場のスポーツ施設の落札者決定について
    - ・ 新大阪地区交通バリアフリー基本構想の変更について
    - ・ 子育て関連情報提供
- 4 閉会

### 〈配付資料〉

- ・ 議事次第
- ・ 第 49 回「まちづくり通信」
- ・ 【資料 1】淡路駅エリアのまちづくり関連資料
- ・ 【資料 2】まちづくり検討関連資料
- ・ 【資料 3】インターネットアンケート報告
- ・ 【資料 4】新大阪地区交通バリアフリー基本構想（概要版）
- ・ 【資料 5】子育て関連資料

## 1. 開会

## 2. 部会長あいさつ

### （部会長）

- ・ 東淀川区は、来年、区創設 100 周年を迎える。この先 100 年のさらなる飛躍と発展に向けた様々な記念事業を実施していくようだが、あわせて地域でも各地域の計画をしっかりと進めていきたい。一方で、府立高校の入試制度改革の議論がなされている。まちづくりは学校との連携も必要不可欠と考える。本日の議題にもあるが、柴島浄水場の新たな土地利用など、ぜひ積極的なご議論をいただきたい。

## 3. 議題

### （1）淡路駅エリアのまちづくりについて

#### （事務局）

- ・ 淡路駅エリアのまちづくりについて、大阪市計画調整局から説明する。

#### （計画調整局）

- ・ 資料 1 に新大阪駅、十三駅、淡路駅周辺の 3 エリアのまちづくりの方向性（P1）、各エリアの進め方（P2）などを記載している。
- ・ 十三駅・淡路駅は、新大阪駅周辺地域のサブ拠点であるとともに、地域におけるまちづくりの中核拠点として考えており、それぞれの特色を生かしながら人の流れや定着人口の増加をはかっていきたいと考えている（資料 4-P1）。淡路駅エリアは、阪急京都線、千里線、JR おおさか東線の鉄道 3 線・4 駅が集まるエリアで、柴島浄水場のダウンサイジング用地と高架下空間の一体的な活用がキーとなり、「居心地が

良く歩きたくなるまちなか」を形成し、エリアの価値向上を図っていきたい（資料4-P7）。今後の進め方（資料4-P10）に記載されているとおり、大規模な開発用地があることを、早期からPRして、良好なプロジェクトを誘致したいと考えており、今年度内に「淡路駅エリア計画 Ver. 1.0」のとりまとめを行う予定。本日お集まりの部会員の皆さまに、ご意見を伺いたいので、なるべく早期に案を示し、説明や意見交換の機会を設けたいと考えている。

**（質疑応答）**

**（部会長）**

- ・「淡路駅エリア計画 Ver. 1.0」のボリュームや内容はどのようなものになる見込みか。

**（計画調整局）**

- ・概要版はA3一枚程度、本編はA4で20ページ程度の想定。都市開発に関わる民間事業者が決まっていな  
いなか、まずは Ver. 1.0 で大きな方向性を示すものになる。

**（部会長）**

- ・私たち地域住民が、ある日突然「淡路駅エリア計画」が完成したことを知らされる、ということにはならないか。

**（計画調整局）**

- ・地域との対話を通じて、意見をいただきながら、計画に反映させていきたい。

**（部会員）**

- ・先ほどの説明で、「居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成」とあったが、本当に実現するのであれば、とても楽しみだ。啓発地域では、公営住宅が壊されて、開けた空間ができた。

**（部会員）**

- ・できた用地が魅力的なまちとして開発できればよいが。

**（部会員）**

- ・私も「淡路駅エリア計画 Ver. 1.0」の地域との話し合いがどのように進められるのかが気になった。定住してもらえ  
るような場所にしてもらいたい。子どもの数が減っている。子育て世帯が住んで、人が増えな  
いと、まちは活性化しないと思う。

**（部会長）**

- ・なかなかイメージしづらいが、柴島浄水場のダウンサイジング用地の12ヘクタールとは、甲子園球場3  
つ分の広さだそうだ。

**（計画調整局）**

- ・どのように、良好な都市開発を誘導していくか、地域の皆さんの意見を聞いて、計画に反映させたい。

**（部会員）**

- ・「歩きたくなるまち」といえば、この地域では春の桜の通り抜けを楽しみにしている。柴島浄水場のダウ  
ンサイジング用地や高架下の活用についても、とても期待している。高架下は、大きく画一的な利用では  
なく、小分けにして色々なものがあるとよいと思う。側道のつくりかたも重要だと思う。

**（計画調整局）**

- ・いただいたご意見は、計画のポイントになってくると思う。高架下の利活用も柴島浄水場も、いろいろな用途が出てきやすくなるような適切な区割りが必要になる。どういった都市開発が望ましいのか、まずは民間事業者への早期PRを実施していきたい。側道については、いたずらに車を地域に呼び込まないよう、周辺地域に影響が出ないような配慮が必要。周辺の住居利用ともなじみ、地域と連携がとれるようなもので、地域と隔絶しないような開発を誘致したい。

#### **(部会員)**

- ・建設から40～50年経ったタワーマンションはまだ無いだろう。地域内には、現在はお年寄りばかりになっている14階建てのマンションもある。最低でも30～40年後のことまで考えて、将来を見据えた計画にしてもらいたい。

#### **(計画調整局)**

- ・一時のにぎわいではなく、持続的なまちの発展や活性化につながるよう、十分配慮して検討する。

#### **(久教授)**

- ・柴島浄水場や高架下活用に目が行きがちだが、資料4-P7のとおり、3線・4駅とその周辺を含む、かなり広いエリア全体の話になるということか。

#### **(計画調整局)**

- ・資料4-P7のピンク色で着色したぼんやりとした広がりを持ったエリアを想定している。「淡路駅エリア計画 Ver. 1.0」の業務委託の別図3枚だけでなく、周辺地域の価値向上も目指すものである。

#### **(久教授)**

- ・そうであれば、柴島浄水場や高架下活用だけでなく、各駅と周辺とのつながりや、新大阪駅までつなげていく必要がある。そのためには“現場感覚”が非常に大切になるが、(受注した)コンサルさんは大丈夫なのか。資料1-P2の検討部会はそうそうたるメンバーだが、“現場感覚”を持っているかたは区長さんくらいしかいないのではないか。
- ・この部会にお集まりの、各地域でまちづくり活動をされている皆さんがたの“現場感覚”こそが重要。「淡路駅エリア計画 Ver. 1.0」の策定にあたっては、何度も頻繁に意見交換やすり合わせをしてほしい。
- ・例えば、どこに歩行者ルートを作れば西へ(新大阪駅方面へ)つなげていけるのか。“現場感覚”を持った人たちが議論に参加すべき。“現場感覚”を重要視してもらいたい。

#### **(計画調整局)**

- ・専門性のあるスタッフで進めているので問題ないと考えているが、“現場感覚”はとても大切だと考えている。ぜひ、回を重ねて、地域の皆さんとの対話や検討を進めていきたい。

#### **(部会長)**

- ・信用と信頼によって、進めていきたいと思っているが、新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域の指定の際には、地域の意見を取り入れると言いながら、実際には、行政からは1度しか部会に説明に来られなかった。同じようなことがないようにしてもらいたい。

#### **(計画調整局)**

- ・回を重ねて、地域の皆さんとの対話や検討を進めていきたい。

## **(2) 地域での活動報告及び意見交換**

### **(事務局)**

- ・東淀川区西部地域での関連プロジェクトがいよいよ動き出していく。資料2のとおり、バリアフリーまちづくり協議会・まちづくり構想部会も、運動したかたちで進めていきたい。具体的には、高架切替やダウンサイジング関連工事が始まる2～3年前、令和8（2026）年度に8地域のアクションプランを策定し、地域の意見を各事業に反映してもらえるようにしたい。
- ・アクションプランを策定しておしまいでなく、その後もPDCA、アクションプランの内容を更新しながら各地域のまちづくりを進めていく。
- ・アクションプランは、保健福祉計画や個別避難計画とも連動する部分があると思う。豊新地域では、保健福祉計画の見直し（第2期）をされた。
- ・下新庄地域、啓発地域では、ワークショップ等を開催しながら取り組みを進めている。

### **【啓発地域】**

#### **(事務局)**

- ・6月20日に、啓発地域の10の町会の10会長、町会員各2名、区役所の関係者など40名が集まり、南西部地域包括支援センターでワークショップ報告会（令和4～6年にかけて開催したワークショップの内容を報告）を開催した。西部地域バリアフリーまちづくりの取り組み内容についても、説明した。
- ・資料2-P3は、啓発地域の強み、課題、将来について、出てきた意見をまとめたもの。

#### **(部会員)**

- ・よく見ると、「矛盾しているんじゃないか？」と思われるかもしれないが、出席者の各町会による違い。少し先の将来のことを考えて発言する人と、今すぐ欲しいものについて話す人がいた。40人が参加したが、若い人はいなかった。盛り上がりはいたが、若い人が参加していないという反省点もある。
- ・啓発地域は、商業地ではますます住みづらくなってきて、昔からの住宅地では買い物難民が増えている。

#### **(部会員)**

- ・（次回のワークショップには）保育園の保護者に参加してもらおうとか。

#### **(久教授)**

- ・これをきっかけに、次は若い人を呼んでこようと、フランクに意見交換ができるようになるといい。

#### **(部会員)**

- ・東淡路には移動スーパーが来ている、と聞いた。

#### **(部会員)**

- ・東淡路・西淡路には移動スーパーが来ている。導入当時はいろいろあったが、今では待っている人もいて、定着してきたように感じる。啓発地域にも回ってもらえるといい。

#### **(久教授)**

- ・富田林市の市営住宅を管理する指定管理者からの提案で、移動スーパーが来ることになった。別の事業者は「縄張りがあるのでうちは入れない」とのことだった。東淡路や西淡路に来ている事業者さんに確認して、難しければ別の事業者にあたると良いのでは。移動スーパーをされている事業者さんにとっても、ビ

ジネスチャンスでもあるので、可能性としてはあるのではないかと。

## 4. その他

### (事務局)

- ・少し前になるが、令和3年12月末から令和4年1月末にかけて、インターネットアンケートを実施し、中学生以上583名から回答をいただいた。当時の広報紙(資料3)を参考にいただければ。
- ・資料5は、「令和5年度大阪市子どもの生活に関する実態調査」結果としてホームページに掲載された抜粋。特に、報告書P667の「居場所」について、示唆に富んだ記載があるので、こちらも参考にいただければ。

### (部会長)

- ・下新庄地域では子ども食堂を、新庄地域では駄菓子屋さんをされていた。

### (久教授)

- ・資料3のアンケート報告には、「40～50代の世代は地域活動に興味関心があったとしても、なかなか行事に参加できず、地域活動にもっとも遠い世代」と記載されているが、ここの部会のメンバーは違う。世の中の“思い込み”をいかに払拭するか、ということだ。
- ・先日、和泉市の月1回の「井戸端会議」に、30～40代の女性が新たに4人も参加してくれた。彼女たちは「みんな食堂」やメンタルトレーナーなど、地域とは別に、既にそれぞれ動いている人たちだった。うまく地域にも入って、地域のためにも動いてほしいと思うが、今まで通りのやりかたでは地域の中でなじめない、仲間になってもらえない、動いてもらえない、力が発揮できない、ということになる。子育て中の親御さん達も、自分の子ども達をなんとかしてあげたい、という気持ちや関心はあるだろう。地域に居る、やる気やパワーのある人達に、いかに地域の中で活躍してもらえるかを工夫する必要がある。

### (部会長)

- ・下新庄地域や豊新地域は、若い人達が活動されている印象がある。

### (久教授)

- ・豊新地域は、若い人達だけで活動を担うようにした。生き生きと活動されている。

### (部会員)

- ・下新庄地域では、防災・防犯をテーマにワークショップを開催する予定。7月以降、なるべく早い時期に開催したい。夏休みはまつりなどがあるので、9月頃か。

### (事務局)

- ・柴島浄水場のスポーツ施設の落札者が決まった。今までと同じ会社が5年間運営する。
- ・資料4「新大阪地区交通バリアフリー基本構想」は、パブリックコメントを経て、変更された。主な施設を見直し(追加・削除)、ルートは実際に歩いて確認している。
- ・資料5のP1は、前回ご説明した「こども家庭センター」の内容がわかりにくいとのご意見を受け、イメージ図にしたもの。

## 5. 閉会

---

- ・次回の部会は、9月12日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

以上